

大型車の車輪脱落事故



タイヤ交換時の不適切な作業により、大型車の車輪脱落事故が近年増加傾向にあります。車輪脱落事故ゼロに向けて、正しいタイヤ交換作業の徹底をお願いします。

「左後輪」脱落事故は、 冬タイヤ交換1カ月以内に多く発生

原因

- ホイールナットの増し締め未実施
- 規定トルクでの締め付け未実施
- ボルトやナットの劣化
- 点検時の確認不備 など

「左後輪」の脱落割合が高いと考えられる原因

左折時は、左後輪がほとんど回転しない状態で旋回するため、回転方向に対して垂直にタイヤがよじれるように力が働きます。また、道路は中心部が高く作られている場合が多いことから、車両が左（路肩側）に傾き、左輪により大きな荷重がかかってしまうことなどが原因の可能性として考えられます。

車輪脱落事故防止のために、 適切な点検・整備の徹底を

- 規定トルクで確実な締め付けを
- 50～100km走行後に、しっかり増し締めを
- 1日1回、日常点検の徹底を
- ホイールに適合したボルト、ナットの使用を

点検・整備について詳しくは、
一般社団法人 日本自動車工業会の
ホームページでご確認ください。



国土交通省公式YouTubeチャンネルで
事故の危険性を啓発するビデオが
公開されています。ぜひ、ご覧ください。

